

◎ 星祭祈願簿

靈峰石鑊山
總本宮
石鑊神社
石鑊本教



（御神札のお受取りは）

1	御参拝
2	郵送

(どちらかに必ず○印をつけて下さい)

お世話人の電話番号を必ずご明記ください。
ご住所・ご氏名は詳しく分かり易くお書き入れください（番地まで）

年度			お世話人
電話	氏名	住 所 (-)	
1			お世話人 補 佐
1			

星祭りは各人の御祈願ですので、ご家族の皆様各々別々にお申し込みください。

[illegible]

初穂料三百円、五百円は御祈願申し上げ、お一人毎に御守を授与します。
初穂料千円、二千円、三千円、五千円、一万円は御祈願申し上げ、お一人毎に大・小の御守を授与します。

[illegible]

〔注意〕 各人の満年齢は、左記の数え年から、各本人の誕生日以前には一歳、誕生日以降には二歳を引けば得られるアラビア数字は、ことしの誕生日以降の満年齢である。子・辰・申の年は閏年となる。

令和八年各人数之年・生年・干支・九星・納音早見表

申し込み用紙はホームページより
ダウンロードできます。
本社からも申し込み用紙を郵送致
します。

TEL ○八九七―五五―四〇四四 星祭係

石鎚本教所属教師講習会開催のお知らせ

日 時 令和8年3月6日(金)～8日(日)
場 所 石鎚神社会館
参加資格 石鎚神社先達であること



詳細は12月に教区長・教会・遙拝所へ
お送りするご案内や、社報1・2月号をご覧ください。

八大龍王社

例大祭

令和七年八月八日齋行

夏の盛り希少な植物キレンゲショウマも黄色のふつくらしたつぼみを付け始めた頃、八月八日、十一時より中宮成就社境内にご鎮座されます八大龍王社に於きまして、例大祭並びにお火焚き祈願祭が執り行われました。

夏らしい晴れ晴れした天候に恵まれ多くの方が参列し祭儀が斎行されました事に感謝申し上げます。

祭儀は武智宮司が例大祭を言祝ぐ祝詞を奏上、ご参列いただきました方々に大神様のご守護に感謝する玉串拝礼をしていただきました。



続いて見返り遙拝殿前にて斎行されたお火焚き祈願祭では、十亀権宮司の手により全国から寄せられました四百三十五本の祈願木を一つずつ読上げ、そして参列の皆様と共に大阪府 瑞明遙拝所長

西川昌宏先生の先導で、大祓詞斉唱・般若心経を誦誦し願い事が成就しますよう心一つにお祈り申し上げ、納めに八大龍王神札を参列の皆様一人ひとりにお渡しして祭典終了となりました。



次年の八大龍王社例大祭・お火焚き祈願祭も多くの御参列を心よりお待ち申し上げます、八大龍王神の神威益々の発揚と、全国各地の信徒の皆様のご多幸と、常日頃より御配慮いただいております関係者各位に感謝申し上げます報告と致します。

またこの度、大阪府 瑞明遙拝所長 西川昌宏先生より鈴の緒の奉納がありました。白、赤、青色の三色織り成す鮮やかな鈴の緒が、お社と緑の木々立つ中見事に美しく見えております。

記 権瀬宜 瀧澤

大分崇敬組合 地方祭式講習会開催

令和七年度の大分崇敬組合
主催地方祭式講習会が左記の
要領にて執り行われ、皆さん
熱心に受講されました。

記

主催 大分崇敬組合

組合長 田島大悟

日程 九月二十日(土)

二十一日(日)まで

場所 大分県 尺間嶽教会
参加者 二十五名(新人八名)

(以上・敬称略)

記 瀬宜 大岡



東洋大心崇敬組合 地方祭式講習会開催

去る九月十三日から十四日
の二日間、岡山県井原市にあ
ります備中鬼石組遙拝所に
て、本社曾我部権瀬宜指導の
もと東洋大心崇敬組合の祭式
作法講習会が行われました。

東洋大心崇敬組合管内より
十二名の方々が参加され、正
坐の姿勢、拝の角度、笏法等
の基礎作法の鍛錬、大祭式に
則った行事作法の実技を行
い、二日目の夕方に講習会の
習熟度を見せて頂く為、参加
者全員に所役を割り振り、大
祭式にて終了奉告祭を斎行し
ました。

参加された皆様が講習会で
得た学びを日々の奉仕に生か
して頂き、今後益々のご活
躍、ご健勝を祈念しご報告と
させて頂きます。

記 権瀬宜 曾我部洋輔

第三十二回 御神像拝戴奉仕者講習会開催

令和七年九月一日(月)、
本社の月次祭にあわせて御神
像拝戴奉仕者が行われ、その時
にご奉仕頂く拝戴奉仕団の講
習会が十九名の参加を頂き開
催されました。

【受講者ご芳名】

東予崇敬組合

窪田 進

西条周桑崇敬組合

佐伯 義明・菅 忠昭

十亀 勉・高岡 信行

藤田 義久・杉森 信友

神野 克史

中予崇敬組合

山本眞理子・鈴木 寿一

伊藤 佳次・乙井 正男

高石 滋・市田 淳

市田 智恵・山下 伸美

宇野 牧子・後藤 広幸

南予崇敬組合

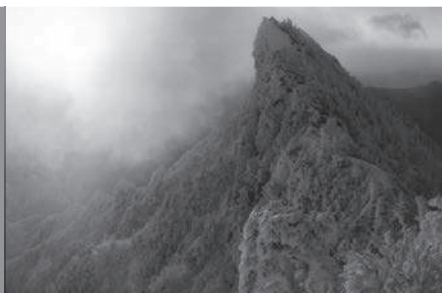
肥田 真由美

皆様のご参加をお待ちしてい
ます。
この講習会は正しい作法を
学び、年間七回行われる御神
像拝戴を行いたい・互いに切
磋琢磨して交流を深め、参拝
者に喜んで頂きたいと思っ
てから始まり、今回が二十二回
目の開催となりました。
講習会での最多参加者回数
は十七回の高岡先達・初めて
の方も二名おられ、御神像の
受け渡し、拝戴時の注意事
項、座って行う・立って行う
拝戴を学び、力を入れるだけ
が良いのではなく、奉仕者と
御神像拝受者の気持ちが一っ
つになるように心がけるなど、
心の持ち方も含めて講習を行
いました。

この講習会は毎年九月一日
の午後から開催しています。

記 権宮司 十亀博行

『石鎚山環境保全応援団』 加入（ご寄付）のお願い



石鎚山が快適に登山できるのは、みなさまのご協力のおかげです

石鎚山二の鎖下「石鎚山公衆トイレ休憩所」の維持管理や、石鎚登山道（土小屋ルート）の修繕は、3つの収入によって適切に実施しています。

- 市町村の負担金
- トイレ利用協力金（トイレチップ）
- 企業・団体や個人からの寄付金

そのうち、協力金や寄付金が
7割を占めています！

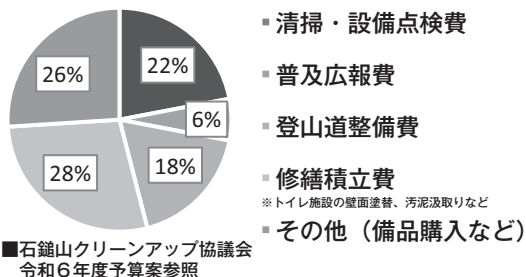


（トイレ施設の壁面を塗替）



（登山道を修繕）

維持管理費用の構成比



適切な管理・修繕には、
年間500万円以上の
維持管理費が必要です

もし維持管理費がなくなると…？

寄付金は年々減少傾向にあり、もし維持管理費がなくなると以下のような問題が発生します。

- 壁面の塗替ができず、色落ち、カビが発生する
- 清掃回数が減り、ゴミや汚れが散乱する
- トイレの劣化が加速し、使用禁止箇所が増える
- 登山道の修繕ができず、閉鎖される可能性も…



壁面の劣化やカビ



登山道が朽ち、
通行不能に

『石鎚山環境保全応援団』の申込（寄付）は、

（年間）1口3万円（企業・団体） 1口1万円（個人）

から募集しています。

お申込みは下記事務局へ連絡いただくか、右のQRコードからお申込みください。

※加入者にはトイレクーポン（12枚綴り）を返礼いたします



（申込フォームへ）

【石鎚山クリーンアップ協議会 事務局】

- | | | |
|-----------|----------|------------------|
| ○ 西条市役所 | 観光振興課 | TEL：0897-52-1690 |
| ○ 久万高原町役場 | まちづくり戦略課 | TEL：0892-21-1111 |
| ○ 愛媛県庁 | 自然保護課 | TEL：089-912-2366 |

みなさまのご協力を、
心よりお願い申し上げます



編集前記

令和七年八月二日～五日迄の四日間、三泊四日の日程で第五十八回石鎚青少年鍊成会が開催されました。

今年は前回の五十七回と違い一泊多くまた日程も八月の初旬という変更があった為か会員三名という少人数ではありましたがたくさんの方々の協力もあり無事終えることが出来ました。

この、虫の声「第五十八回石鎚青少年鍊成会特集号」では、会員の感想や九月二十一日に行われました定例総会のご報告を掲載しております。ぜひご覧ください。



委 員 長 挨拶

村田 和也

第五十八回石鎚青少年錬成会で委員長をさせていただいた村田和也です。

まずは、この度の錬成会が無事に終わられたことを非常にうれしく思います。

今回の錬成会は過去最少人数の三名でした。

錬成会の中でも一番の行事である二日目の石鎚神社頂上社にむけての登山や三日目の下山を行う際に大きな怪我をする会員はいなかったため非常に嬉しく思います。

今回人数が少なく悲しい思いもありましたが、会員のみんなの雰囲気を見た感じや、感想文を読んでみて少ない人数だからこそその会員同士、会員と青年部の距離感も近く節度がある中で

も楽しい錬成会にできたのではないかと思います。

他の人と協力すること、

他の人を思いやること、人の話を聞くことなどその身につけた力を今後何か役に立ててくれると思っています。

次回の錬成会では今回来てくれた会員の皆さんが友達を誘ってきてくれたりして多くの会員が集まることを切に願っております。

我々青年部も今回以上の錬成会が次回開催できるように尽力しますのでぜひまたあいましょう。

会 員 感 想 文

大地 咲桜美

私が錬成会で楽しかったことは、頂上で過ごしたことです。

理由は初めて山の頂上で過ごしたからです。

特に頂上で過ごして楽しかったことは星空を見たことです。

理由はいつも見る星よりも星の数が多かったし、光の強さが強くてキラキラ光っているのがきれいだったからです。

他にも楽しかったことは頂上から花火を見たことです。

頂上から今治市まではものすごく遠いのに花火がしっかりと見えたのでおどろきました。

いつも見る花火よりも遠くから見たので花火の大きさは小さかったけど、小さい花みたいに見えてとてもかわいかったです。

また、たまに花火の音も聞こえて、近くで見てるような気持ちになれてとても嬉しかったです。



越智 大喜

ぼくが、錬成会で楽しかったことは、みそぎがたのしかったです。

理由は、入る前にするやつがたのしかったです。入ったときはつめたかったけどじっとしているとあたたかかったです。

山登りもたのしかったです。

山登りは、のぼるときとげざんはめっちゃつかれました。

石鎚山の上は朝はさむかったです。

ぶじけがなく石鎚山をのぼったり下山できてよかったです。

上から見る花火小っちゃかったしすごかったです。来年もいけたらいいと思います。



ぼくが鍊成会で楽しかったことは、山登りと花火と、みそぎです。

藤原 宏輔

理由は、山登りをするのが、久しぶりだからわくわくしていて、上に登るとすずしくて気持ちよかったです。

花火は、上から見る今までの花火が新せんで、楽しかったです。

みそぎは、初めてやるし、水に入る時は冷たかったけれど、入って少したったらあつたかく感じてきて、気持ちよくなってきた所が楽しかったです。

石鎚山に登る時と下山するときけがをせずに、無事できたのでよかったです。

また、缶つぶしと建物さがし、ふうりん作りも楽しかったです。

また、来年も行きたいです。



定例会のご報告

九月二十一日午前十時に第五十三回青年部定例総会を開催しました。

総会では石鎚青少年鍊成会を今後恒久的に続けていくために、青年部として取り組んでいけること(日程・募集方法他)について話し合いました。

鍊成会の新日程案の件としては会員の方々が気軽に参加しやすくあるよう日程をお盆明け開催とし、一日減らすことを考えています。

また、頂上山荘への宿泊のあり方や第六十回に向けての話し合い(周年のみ三泊四日)などを話し合いました。

また正月奉仕についてや、予算など青年部の活動にとって重要で内容の濃い総会になったと思います。



編集後記

この虫の声で鍊成会の思い出が少しでも思い返せましたでしょうか？

第五十八回石鎚青少年鍊成会は無事閉講しましたが、次回の鍊成会に向けて青年部一同精進してまいりますのでこれからもよろしくお願いいたします。

第五十九回石鎚青少年鍊成会でより多くの方が参加されることをころよりお待ちしております。

石鎚青年部会報

(発行所) 愛媛県西条市

西田甲797

石鎚青年部事務局

(発行代表者) 武智 正人

(編集責任者) 村田 和也

(編集者) 寺川 卓

(印刷所)

(有) プリ・キュウ・プレス

山のタヌキの

徒然日記(4)

※当たり前じゃが、「観てなければ気付かない」のこと。

今年の夏は？というか最近のお山の夏は、以前に比べて暑くなったのう。かつては「四国の札幌」といわれた石鎚山の七合目、ここ成就地区じゃが、何やら本家？の北海道の夏が今では沖縄より暑い日もあるようじゃ。日本の美しい「四季」がいずれ夏と冬の「二季」になるというお方もおる。ま、タヌキのわしが心配してもどうなるものでもないがのう。仮に二季になっても何とかなるじやろうし？するしかないし、それなりの良さ？なんぞも生まれて来るのかも知れんわい。

そういえば「夕立」という言葉を聞かなくなって久しく、変わって生まれた言葉が「ゲリラ豪雨」かあ？が正直、平安中期の大昔に清少納言さんとやらが美しいと思った「春のあけぼのや秋の夕暮れの時

空間」がなくなる？のは寂しいのう。

このお山に生まれ育って三百年、お気楽に日々住まわせてもろうとるが、こんなわしでも、巣穴の周辺を年中散歩しておると、さすがに植生とやらの変化も気付くし道中で出くわす昆虫やわしの仲間の小動物らも年や季節によって減ったり増えたり、拳句は全くお目にかからんようになりたりと。理由なんぞは分からんが、何かがちよつとずつ変わって行きよることは肌で感じておる。わしがここに生まれてから、ずーっと変わらんものは、今日もこうして沢山の人間様がお頂上を目指すということかのう。



登山、下山はしんどい筈じゃし、江戸時代中期よりは石鎚参りが一般に広まってきたが、その頃は登山道も獣道レベル、山頂行は命がけ。今でも時間をかけてお金も使つてあのお頂上に人間様は足を運びよる。開山以来千三百年は優に超えたがのう。



石鎚登山は、理屈じゃのうて、とにかくお山に入り、山頂に立つと心は晴れ晴れと清々しく「人知を超えた何かしら大きな力」を覚えるようじゃ。その体感を人間様は「神」や「仏」と呼ぶのかも

知れん。して見ると様々に事はあろうが、人間様が長い時を掛けて「続くこと」、「続けられること」には、大きな魅力や命を輝かす時空間があるじやろうことはタヌキのわしにも想像はできる。が、その心の充足感なんぞは実際に実行して体験しているお方じゃないと分からのじやろうのう。

※「雨の日も風の日も」続けて十八年」のこと。

西日本最高峰の石鎚神社頂上社に年間を通して毎月お参りするお方もおるし、西条市街の本社へは、毎日お参りされる方もおるようじゃ。

本社勤務の職員さんが話しておったが、例えば早朝にお参りを続けとるお方も何名かおつて、お名前も知っている方もそうでない方も、よくお見掛けするので途中で名前を知らないうと、ご縁とは面白いもの。そんな中でも、わしが聞いた中では、継続年数もかるく十年を超えるお方で、境内には平均

して午前五時半に入り本殿の午前六時の日供祭に向拝で手を合わされる…。

誰かって？そう！営繕担当の前職員「難波江辰一さん」じゃ。なので宿直の神職さんは何度も早朝にお目にかかっておることになる。

職員になる前からの早朝参拝を日課として、職員になっても勤務前に、そして退職した後も同様に参拝を続けて今年でなんと十八年を数えておるらしい。



ご自宅は本社地元の西田地区で、以前は一時間以上を掛けてご自宅の玄関から徒歩で神門をくぐり境内の末社、摂

社を巡拝しながら本殿へ参拝されよつたらしい。今は、途中の駐車場に車を停めて近くの末社のひとつ大石社の周辺を掃き掃除してからお参りが始まるようじゃが、朔日と十五日はやはり末社、摂社の巡拝からその日を始めておるとのこと。自宅に居ない時や病気の時以外は皆勤賞♪じゃと：十八年間かぁうすごいのう。

ご本人曰く、十八年前のある日、早朝に時間ができたのでふと思いついて参拝を始めてみた。すると続けるうちに先ずは自分が気持ち良いし心身も調子良くなり、ご自身始めご家族ご一同様も「神様のお蔭を頂いている」ことを実感し：以来感謝の心を以て毎日楽しみに石鎚の神様にご挨拶を続けておられるとのこと。

：そうそう、やはり一緒なんじゃのう。物事を続けることのできるお方は。例えばそれがしんどそうな無報酬のボランティアとかであっても、「楽しく務めて感謝する」ことを自然に見出しよる。こんなことができれば、本人様も、そ

のご家族や周りの人も引いては団体や組織なんでも和やかな時空間が満ちていくに違いない。

自分に実践の無いお方のよくいう「綺麗事？」らしきではのうて、実践している人間様の語りは間違いなく「綺麗な事で麗しい」わい。

ま、タヌキのわしなんぞ大概何をやつても三日坊主。唯一続いておる散歩も「今日は雨じゃから、寒いから：」なんぞとお天気のせいにしてすぐにやめてしまいうる（笑）恥ずかしい限りじゃわい。

難波江さーん、明日からも気持ち良く早朝参拝をフアイト♪

※人知れず神様のお庭を「掃き掃除」のこと。

お蔭さまで、広い本社の境内も、年間を通して自主的に掃き清めてくれよるお方が何人かおられるようです。

その中のお一人でここ二年ぐらい、祖霊殿や本殿、蛇の口の池の周辺を職員さんの勤

務時間を避けて早朝や夕刻に黙々と掃き掃除してくれよる三十代半ばの男性がおる。ホント黙々と丁寧に。毎日ではないらしいが、勤務時間外のことでの様子を知らん職員さんも多いらしい。文字通り「人知れず」のご奉仕…。

信者さん？かのう。どんな思いで箒を手にとるんじゃろう…きつかけは何じゃろう…と無粋なわしはつい思い思ってしまう。これまた文字通り「神のみぞ知る」じゃな。

この成就地区の森も、人間様はもちろん、いろんな命が千三百年もの間今日を明日へと繋いで来た。ご縁のままにそれぞれが夫々の務めを果たした結果が今にある。本社の境内も然りじゃ。様々なご縁のままに今日を訪ねる。合掌したり箒を手にとったり、はたまた御神水を飲んでみたり木陰で深呼吸したり、ベンチに腰を掛けて景色を眺めてみたり：それぞれの命は輝く。

文責 相談員 曾我部英司

石鎚国定公園指定70周年記念

70th Anniversary of Ishizuchi
Quasi-National Park Designation
Mt. Ishizuchi-san, thanks to you

いしづちさん、
おかげさまで

2025年
10月23日[木] -
12月21日[日]

開館時間 9:40 - 18:00 (入場は17:30まで)

休館日: 毎週月曜日

(第1月曜日開館、翌火曜日休館・月曜日が祝日の場合は翌火曜日休館)



この事業は愛媛県・国庫・県基金の
拠出を活用して実施しています。



愛媛県美術館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内 TEL.089-932-0010 FAX.089-932-0511
<https://www.ehime-art.jp/>

長沖出智友(愛媛石鎚)部分 愛媛県美術館蔵

主催: 愛媛県美術館、愛媛県石鎚山系エコツーリズム推進協議会

いしづちさん、 おかげさまで

本展は、石鎚国定公園指定70周年を記念し、愛媛県石鎚山系エコツーリズム推進協議会と共同で開催します。当館が所蔵する石鎚山系の自然をテーマにした作品に加え、同協議会の提供による、現在の風景を撮影した写真も展示します。豊かな自然を育み、また心の礎として人々の生活を支えてきた石鎚の魅力を、様々な視点でご紹介します。



吉茂田公彦《紅葉河原》1979(昭和54)年



嵯峨海太郎《瀬河流るる》[創作版画 伊藤風堂]23 1906(昭和11)年頃



尾地林太郎《砥石》(イロ) 二六〇〇年度展 山120 1940(昭和15)年
各 愛媛県美術館蔵



武川清吉《瀬河流るる》1929(昭和4)年



石鎚国定公園とは

石鎚国定公園は、石鎚山を主峰とする石鎚山脈の一部を区域として1955(昭和30)年11月1日に国から指定されました。石鎚山をはじめ、二ノ森、瓶ヶ森や伊予富士などの秀峰のほか、石鎚山の西麓にある景勝地・面河溪も石鎚国定公園に含まれており、新緑、紅葉の名所となっています。



土井 静夢《雲時石鎚の夜明け》2013、平成25)年



伊賀上 智治《岩水柱》2018、平成30)年
各 個人蔵

関連プログラム

石鎚国定公園指定70周年記念日特別企画 オリジナル記念グッズプレゼント

【日 時】11月1日(土)
【対 象】本展入場者先着100名様

記念グッズ
オリジナル
木製コースター

区 分	個 人	団体(20名以上)
一 般	340 円	270 円
大学・高校生	230 円	180 円

※金銭別添付で当日のみ本展にご覧いただけます。
※お次の方は無料でご覧いただけます。中学生以下、満65歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方とその介護者1名

いしづちさん展フロアレクチャー

【日 時】12月13日(土)14:00~15:00

【場 所】展示室内

【定 員】30名 ※申込不要

【講 師】松本 勝(まっちゃん)

(愛媛県石鎚山系エコツーリズム推進協議会認定エコツアーガイド・株式会社ソラヤマいしづちマネージャー)

杉山 はるか(当館専門学芸員)

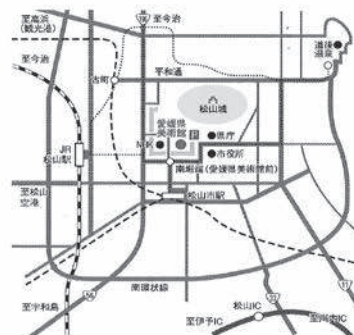


愛媛県美術館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内 TEL.089-932-0010
<https://www.ehime-art.jp/>



【交通案内】○伊予鉄道「南堀之内」駅下車、徒歩3分
※駐車場は、県庁前駐車場(2時間無料)をご利用いただけますが、台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関等のご利用をお願いします。



NPO
法人

石鎚森の学校活動報告

石鎚山お山開き案内人

後援／愛媛県、西条市、愛媛県

石鎚山系エコツーリズム推進協
議会、西条市観光物産協会

【日 時】 令和7年7月1日

(火) ～ 7月9日 (水)

【場 所】 石鎚神社成就社境
内から成就地区周辺の園地、
登山道

【ご案内件数及び人数】

1件、5名

【案内者】 十亀雅史事務局長

本事業もコロナ禍明けから再開して四年目となります。そして本年はお山開き案内人を開催すると決めてから数日後、なんと!? 流暢な物言いで笑いあり感動ありのリチャード節で有名な曾我部理事が所用で案内が叶わないことが判明(。д。)。ならば、誰が案内するのだ(。д。)(。д。)。私ということが暗黙のまにまに決まっていた。それからというもの、頭は案内人のこと

ばかり。私に務まるのか? 参加の皆さんは喜んでくれるのか? そんなことばかり考える日々を過ごしました。



本年はそんなこともあり、本業に差し支える日にち・時間を外し、ご案内チラシを関係各所へ配布致しました。

締め切り日が間近に迫る中、申込が来ない(。д。)。案内中止か? と少し安堵しようとした中、リピーターの方から「5名よろしいでしょうか?」ドキドキが止まりませんでした。

たが、申込があり後援していただいている皆様にもご報告ができることにホッとした気持ちになりました。

今年のお山開きは毎日快晴。いつもにない気候の中での開催となり、来山される方は熱中症対策を万全にしつつ多くの登山者で賑わいました。そのような中での活動となりました。



当日は曇り。今までの日とは違い、涼しい中でのご案内となりました。本業を済ませ合流しご挨拶の後に神門をくぐり山中へ。そこから空気の变化に気づきます。拙いご案内ではありましたが、和気

藹々の雰囲気では遙拝の鳥居へ到着。そこで参加の皆さんリユックの中をゴソゴソされたなあと思つたら、抹茶セットが現れ、お茶の時間が始まりました。山の中での一服は気持ちの良いものです。



昼食を挟み、成就地区を少し探索説明し案内は終了となりました。ここから、帰ろうと思ひ立つた瞬間、瀧のような大雨が降り始め、ご参加の皆さん足早に帰って行きました。

今回も出だしからいろいろありましたが、楽しい時間を共有することができました。ありがとうございました。

文責 事務局長 十亀雅史

奉祝式典・奉祝大祭 写真集



式典 教会等級昇格の発令



式典 受付



式典 特別表彰



式典 宮司管長挨拶



式典 実行委員長挨拶



式典 夢華神楽 奉納



式典 最高功労章 金笏 下付



祝賀会



式典 日本舞踊 奉納



だんじり奉納



大祭 舞楽「陵王」奉納



大祭 御本殿へ参進



大祭・御旅所
獅子舞奉納



大祭 御神輿渡御

大祭・御旅所
集合写真



本社 社務所二階 畳・フローリング 張り替え奉納

大阪教会

教会長 湊 喜美子

最高功労章 金笏

元老大顧問

中教正

福岡神和教会

教会長 佐伯 良子

最高功労章 金笏

元老大顧問

本教功労章・大教正

今般の周年に併せ、本社社務所二階の畳(四部屋)、並びにフローリング(一部屋)の張り替えを大阪教会・福岡神和教会よりご奉納頂きました。畳の部屋は会議や研修、フローリングは青年部が錬成会の企画立案などに使用する部屋として使用しています。ここにお披露目申し上げ、心から感謝申し上げます。



(第二会議室・鯉の部屋)



(青年部部屋)

記 権宮司 十亀博行

御奉納

奉祝大祭・秋季例大祭にて『大幟旗』を本社境内に御奉納いただきました。

令和七年十月吉日

『大幟旗』御奉納者

安芸教会 西中 剛

(敬称略)

御奉納誠にありがとうございました。



尚、成就社・土小屋遙拝殿本社とも一体、二万五千元にて御奉納を募集しております。よろしくお願いいたします。

禰宜 大岡

石 鎚 社 報

〒七九三―八五五五

(発行所) 西条市西田甲七九七

石鎚神社・石鎚本教

【連絡先】電話(〇八九七)

五五―四〇四四 本社

五五―七二四二 FAX

五五―四二六八 会館

五五―七二八一 FAX

五九―一〇一六 成就

五九―一〇四八 FAX

五三―一〇〇八 土小屋

〇八―一九九八 四五九一

山荘予約

【振替】〇二六八―〇一―一八三六〇

【発行代表者】武智 正人

【編集】十亀 博行

【印刷所】プリ・キユウ・プレス

【購読料】送料共 年五〇〇円



石鎚神社 HP QR コード

石鎚神社 で 検索